

講評（主な意見）

提案者②は、本施設の役割、本事業の目的やコンセプトを十分に理解した安定的な事業運営を行う提案が評価された。

提案者③は、メディア発信・デジタル活用により、施設の運営方針やコンセプトの実現を図る提案が評価された。

提案者④は、人員体制の見直しを含め施設運営の効率性を高める提案がなされた。

提案者①は、現在の施設の課題等を分析した上で、それを解決するための多くの提案がなされ、特に、

- ・ 大阪市内からの来館者増やリピーターの確保に向けた内容が提示されたこと
 - ・ 提案事業者がこれまで全国各地で蓄積してきた豊富な経験やノウハウ等を活用した運営が、全社的なバックアップのもとでなされること
 - ・ オンラインチケットシステムを導入、多様なツールを用いたターゲットに届く広報・プロモーションの実施、ミュージアムショップの全面的な見直しや多様な有料プログラムといった魅力的な自主事業の実施等の取り組みがなされること
- 等の点が評価され、最優秀提案として選定された。

事業者に対する要望（附帯意見）

本事業を実施するに当たり、本選定会議が期待・希望することは以下のとおりである。

- ・ 市と連携の上、従前の事業者と引き継ぎを十全に行い、利用者等に対し不利益を与えることなく円滑に新体制に移行すること。
- ・ 本施設の運営にあたっては、豊富な経験・ノウハウや財務力等を持つ本社機能の全面的なバックアップのもと実施すること。また、本分野について専門性を持つ有識者等により構成される第三者委員会を設置し、運営全体にかかるチェックやアドバイス等を得ること。
- ・ 展示の更新については、事業の収益だけで判断するのではなく、施設の魅力向上、安全安心の確保等の観点から必要となる投資を継続的に実施すること。また、障がいのあるこどもにも十分配慮したものとすること。
- ・ 事業者のもつネットワークを十分に活かすことにより、企業等からの協賛を積極的に獲得し、それを展示の更新や提供するプログラムの充実等に活用すること。
- ・ 発生する可能性のあるリスク等を踏まえ、収支計画が下振れすることも想定し、対応を図ること。

以上の事項に留意しつつ、市と密接な連携のもとで今回の提案内容を的確に実施することを通じ、本施設がこれまで 30 年近くかけて培ってきた基盤、知名度、信頼等を継承しつつ、「実際にやってみることで体験して学べる」、「就学前のこどもの参加・体験機会の拡充」、「親子で体験可能な機会の提供」を高度に実現し、より一層「チルドレンズミュージアム」に相応しい施設として発展する取り組みが意欲的になされることを期待する。